

位置情報基盤を構成する  
パブリックタグ情報共有のための  
標準仕様（案）  
Ver 0.3

平成 28 年 3 月 3 日  
国土交通省 国土地理院 測地部

## 目 次

1. 総則
  - 1-1. はじめに
  - 1-2. 本仕様（案）の位置づけ
2. 用語の定義
3. パブリックタグのタグ要件及び設置場所の選定
  - 3-1. タグの要件
  - 3-2. 設置場所の選定
4. パブリックタグの位置の測定
  - 4-1. 測定位置
  - 4-2. 緯度、経度、高さ（階層）を用いた位置情報
  - 4-3. 緯度、経度、高さ（階層）を用いない位置情報
5. パブリックタグ情報の登録及び管理
  - 5-1. 登録手順
  - 5-2. 申請時の注意事項
  - 5-3. 登録情報の管理
6. パブリックタグの利用
  - 6-1. 登録情報の公開
  - 6-2. パブリックタグの利用
  - 6-3. アクセス情報の取り扱い

参考資料

# 1. 総則

---

## 1-1. はじめに

国土地理院は、地物に固定された地点に対し、その場所を示す統一的な位置情報（緯度・経度・高さ（階層））から構成される場所情報コードを発行し、その利活用を推進することにより、地理空間情報活用推進基本計画（平成 24 年 3 月 27 日閣議決定）が目指す、国民が安全・安心で豊かな生活を営むことができる経済社会の実現に取り組んでいる。

場所情報コードは、誰でも申請や利用が可能なものであり、その手続きの標準化や規格化を行う必要性から「位置情報基盤整備のためのガイドライン」を策定し、現在、国土地理院は、場所情報コードの発行機関として、そのコード発行、情報検索・提供サイトの運営等を行っている。

近年では、GNSS 測位機能が携帯端末等に搭載され、その品質やソフトウェアの処理性能の向上に伴い、屋外における位置情報サービスは広く普及し、一般化されてきている。その一方で、屋内、地下、及び屋外との境界等（以下、「屋内外空間」という。）における無線 LAN 等のタグを活用した測位については、位置情報や付帯情報が不統一であるため、設置者以外のサービス提供者がタグを利用できず、広域的でシームレスな屋内外空間における測位の普及を妨げる要因となっている。このため、屋内外空間における位置情報サービスの普及や一般化を進めるために、位置情報の記述方法等の基準を定め、共有のプラットフォームから誰もが位置情報を取得できる仕組みの構築が必要である。

また、日本学術会議の「ユビキタス状況認識社会の構築と時空間データ基盤の整備について」（平成 26 年 9 月 19 日）において、実空間での状況認識を可能にするユビキタス情報インフラの整備では、場所情報コードの利活用を推進することが提言された。さらに、国土交通省の「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」によりとりまとめられた「オープンデータによる歩行者移動支援サービスの普及促進に向けた提言」（平成 27 年 4 月 17 日）において、場所情報コードなどを活用した位置情報の表現の必要性が示された。

こうした背景を踏まえ、最新の位置情報サービスにも適用が可能な位置情報基盤の整備に関する検討を行い「いつでも・どこでも・誰でも必要な精度の位置情報が容易に利用できる社会の実現」に向けた技術仕様となる場所情報コードを基本とした「位置情報基盤整備を構成するパブリックタグ情報共有のための標準仕様（仮称）（案）」（以下、本仕様（案）という。）を策定する。

## 1-2. 本仕様（案）の位置づけ

タグの位置情報を「場所情報コード」の仕組みにより共有可能とするため、位置情報の記述方法や位置情報を利用する際に必要となる事項の標準化を図る。また、標準化し

た情報を共有可能なタグを「パブリックタグ」と定義し、「位置情報基盤整備のためのガイドライン」を基本として、新たに「パブリックタグ」に関する事項を規定する。

本仕様（案）は、平成 27 年度に国土交通省が取り組む測位サービス関連施策である「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討」、「国土交通省総合技術開発プロジェクト 3 次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」及び「高精度測位社会プロジェクト」へ適用するものとし、必要に応じて適宜内容の見直しを行う。

なお、その他の位置情報関連施策においても、官民を問わず、実施に必要な事項等を調整しつつ適用を図ることで、本仕様（案）の普及を促進する。

## 2. 用語の定義

---

本仕様（案）で用いる主な用語の定義は以下のとおりである。

### ・ 位置情報基盤

「いつでも・どこでも・誰でも必要な精度の位置情報が容易に利用できる社会」を実現するために必要な位置情報を社会全体で共通利用できる環境を示す。基底となる部分に、測量法に基づいた位置の基準を定めるための基準点体系があり、最新の位置情報サービスにも対応可能なものとして、本仕様（案）で扱うパブリックタグの情報共有のための仕組みがある。

### ・ 場所情報コード

場所情報コードは、緯度・経度・高さ（階層）によって定義される空間とその空間に存在する位置情報点を唯一無二に識別するIDであり、ucodeの仕組みを用いて記述する。場所情報コードは、申請者が発行に必要な情報を国土地理院に申請し、申請に基づき国土地理院が発行する。

### ・ パブリックタグ

位置特定に利用可能なタグのうち、本仕様（案）に基づき位置情報や属性情報が標準化され、それらの情報を誰でも検索、取得、利用可能な状態にあるものを指す。検索、取得、利用のキーとして場所情報コードを使用する。タグの種類は、タグを一意に特定できるID（場所情報コードやタグ固有の製造IDなど）の発信や読み出しが可能であることを条件に、特に指定しない。

### ・ パブリックタグ情報共有プラットフォーム（仮称）

様々な目的のために設置されるパブリックタグの情報を、登録、管理し、その情報を誰もが検索、取得できるシステム。現在、運用中の「場所情報コード閲覧システム」をそのプロトタイプとして利用する。

- **申請者**

パブリックタグを設置し（または設置した者から許可を得て）、パブリックタグ情報共有プラットフォーム（仮称）にタグの情報を登録するための申請を行う者を指す。タグ情報の登録には、場所情報コードの発行、付与が伴うため、場所情報コードの発行申請者と同意である。

- **登録申請情報**

パブリックタグをパブリックタグ情報共有プラットフォーム（仮称）に登録申請するための情報。

- **ガイドライン**

場所情報コードの発行、申請方法等について取りまとめた「位置情報基盤整備のためのガイドライン」を指す。場所情報コードの取り扱いに関し、本仕様(案)で言及しない部分は、ガイドラインを準用する。

## 3. タグの要件及び設置場所の選定

### 3-1. タグの要件

パブリックタグとして用いるタグは、場所情報コードを書き込み、発信または読み出しができることを標準とする。ただし、Wi-Fi の MAC アドレス、iBeacon の UUID とメジャー、マイナーコードなどタグを一意に特定できる ID の発信や読み出しが可能であれば、この限りではない。

### 3-2. 設置場所の選定

パブリックタグとして登録するタグを設置する際は、各種法令等を遵守するとともに、これらに関する社会的慣行を尊重する。また、設置場所は、簡単な測定で位置が求められることを念頭に選定を行う。

パブリックタグとして、Wi-Fi、BLE、音波などの規格により一定の範囲に信号を搬送するタグを利用する場合は、スマートフォン等の端末が、それらの信号の発信位置を特定できれば良いため、ガイドラインに規定する位置情報点の選定基準とは異なり、人の目に触れにくい天井や梁、柱などであっても構わない。

一方で、NFC や QR コードのような近距離での読み取りが必要なタグの設置場所は、誰もが同一の地点と認識できるような固定地物の特徴的な地点（建物の角、出入口など）を標準とする。どの程度のエリアを同一とするかは環境や利用目的によって異なるが、待ち合わせに利用が可能な程度を目安とする（渋谷駅前忠犬ハチ公像、東京駅八重洲南改札口、日本橋交差点北西角など）。

## 4. パブリックタグの位置の測定

---

### 4-1. 測定位置

パブリックタグ情報共有プラットフォーム（仮称）に登録する位置は、タグを設置した（する）位置とする。Wi-Fi や BLE など信号の搬送距離が長く、受信エリアが広域となるタグの場合、タグを設置した（する）位置ではなく、人が通行する平均的な位置を測定することも考えられるが、場所情報コードは、地物に固定されたモノに対して発行する仕組みであることや、電波強度を利用した三点測位に利用するためにはタグの設置位置とのズレを補正する必要が生じることなどを理由として適用しない。

### 4-2. 緯度、経度、高さ（階層）を用いた位置情報

パブリックタグ情報共有プラットフォーム（仮称）には、測量法第 11 条の規定に基づいた世界測地系による緯度・経度、及び高さ（階層）を位置情報として登録する。世界測地系による緯度、経度、標高の具体的な測定方法は、ガイドラインの「4-2.」「4-3.」「4-4.」の「位置情報点」を「パブリックタグ」に読み替えて、準用する。なお、位置の絶対的な正確さ、測位の再現性、方位など測位性に関する指標の一般化、及び目的に応じた精度指標の整理について今後検討を行う。

### 4-3. 緯度、経度、高さ（階層）を用いない位置情報

駅構内や道路周辺の構造物にパブリックタグを設置する場合は、施設管理者が整備する図面等の資料を基に、世界測地系による信頼性の高い緯度、経度、標高を得ることは比較的容易である。しかし、商業施設内や公共地下空間などの場合には、必ずしも世界測地系に整合した図面等の資料が存在するとは限らない。こうした場所でも、パブリックタグを容易に設置できるよう、地物の固有名詞や図面等の局所的座標など、位置を特定可能な様々な表現で登録するための項目を登録情報の書式へ追加している。

## 5. パブリックタグ情報の登録及び管理

---

### 5-1. 登録手順

パブリックタグ情報の登録及び管理はパブリックタグ情報共有プラットフォーム（仮称）で行う。ただし、当面は、場所情報コード閲覧システムをそのプロトタイプとして利用する。なお、場所情報コード閲覧システムを使用し、場所情報コードを発行するために必要な手続きや申請情報は、様々なタグを可能な限り簡便にパブリックタグとして登録できるよう、ガイドラインとは別に、本仕様（案）で登録手順及び登録申請情報等を定める。

#### ① 申請者登録の申請

申請者登録の申請は、様式A（別紙1）を使用して行う。申請者登録情報は、申請者及び場所情報コードの発行状況を管理するために使用する。

#### ② パブリックタグ情報の登録申請

タグをパブリックタグとしてパブリックタグ情報共有プラットフォーム（仮称）に登録する際は、様式B（別紙2）を使用して国土地理院へ申請する。国土地理院は、これらの申請情報をもとに場所情報コードの発行に必要な情報を付加した上で場所情報コードを発行し、申請情報と併せ「場所情報コード閲覧システム」に登録する。登録した情報は、「6. パブリックタグの利用」に示す場所情報コード閲覧システムAPI およびテキストファイルにより公開する。

#### ③ 場所情報コードの書き込み

タグに場所情報コードの書き込みが可能な場合には、ユビキタス ID センターが定める関連仕様書に基づき書き込みを行う。

### 5-2. 申請時の注意事項

- (1) 申請者がパブリックタグの設置者または施設管理者でない場合、設置者または施設管理者の同意を得た上で申請を行う。
- (2) 登録申請情報の「名称」は、利用者が現地において同一のものと特定できるものが望ましいが、施設管理者の個人名など個人情報（特定の個人を類推可能な情報を含む）を含めてはならない。
- (3) 特定の空間に対する場所情報コード占有対策として、同一空間内における同一申請者に対する場所情報コードの発行は5点までとする。
- (4) ガイドラインでは、登録申請時に、各項目の公開・非公開を設定できるが、パブリックタグの登録申請においては、全ての項目を公開として設定する。

- (5) なりすまし対策のため、申請者登録時に国土地理院が連絡する認証コードをパスワードとして使用し、申請様式ファイルにパスワード保護処理を行った上で申請する。
- (6) 申請者が詳細情報 URL で独自に提供する詳細情報は、自らの目的で管理、提供する情報であるため、基本的には自由に提供できるが、利用者が安心して利用できるよう、以下の事項を遵守すること。これらの事項に反する行為が確認された場合は、事前の通告なしに、発行機関がコード停止等の措置を行うこともある。

1) 提供してはならない情報

- ・ 犯罪行為に当たる情報または犯罪を助長する情報。
- ・ 特定の個人・企業等に対する誹謗中傷等、他人の権利を不当に害する情報。
- ・ 誇大広告や事実と反する虚偽情報等、本制度の信頼性を損ねる情報。
- ・ その他公序良俗に反する情報等。

2) 情報提供に当たっての留意点

- ・ 基本情報と重複する情報については、整合性に留意すること。
- ・ 詳細情報の提供に伴うトラブル等は、原則として当事者間において解決すること。

### 5-3. 登録情報の管理

登録情報の管理は、場所情報コードの発行を受けた申請者が、国土地理院へ必要な情報をメール送信等により申請することで行う。

位置情報や属性情報が変更されたときは、修正申請を行う。申請は、登録時に使用した様式B（別紙2）を用い、場所情報コード欄に発行済みのコードを記入した上で、情報を修正する。

パブリックタグを使用しなくなったときは、停止または廃止申請を行う。停止または廃止申請処理が完了した時点で、パブリックタグ情報の公表は停止される。

① 停止

一時的なトラブル対応等に伴う停止など、利用の再開を前提とする場合。

② 廃止

タグの撤去、位置情報サービスの終了など、場所情報コードの発行を受けた当初の条件下で再度利用しない場合。

## 6. パブリックタグの利用

---

### 6-1. 登録情報の公開

パブリックタグとして登録された情報は、オープンデータに関する政府標準利用規約（第2.0版）に基づく国土地理院コンテンツ利用規約により公開する。

### 6-2. パブリックタグの利用

パブリックタグ情報を利用する場合は、国土地理院コンテンツ利用規約に同意の上、以下の2通りの方法で利用する。

#### (1) 場所情報コード閲覧システム API

場所情報コード閲覧システム API により登録申請情報を取得できる。検索条件を URL パラメータで指定した http リクエストを送信することで、検索結果を JSON 形式で受信可能である。検索条件は「パブリックタグ情報共有プラットフォーム情報提供サイト」に、検索結果の書式は別紙4に示すとおりである。

#### (2) テキストファイル

携帯電話の圏外など、場所情報コード閲覧システム API にアクセスできない環境や複数のパブリックタグに高頻度でアクセスする場合などでは、事前に CSV 形式のテキストファイルを国土地理院が準備する実証実験用ページからダウンロードして利用する。テキストファイルの書式は、別紙5に示すとおりである。実証実験用のパブリックタグ情報が追加、修正された場合には、テキストファイルの更新も随時行う。

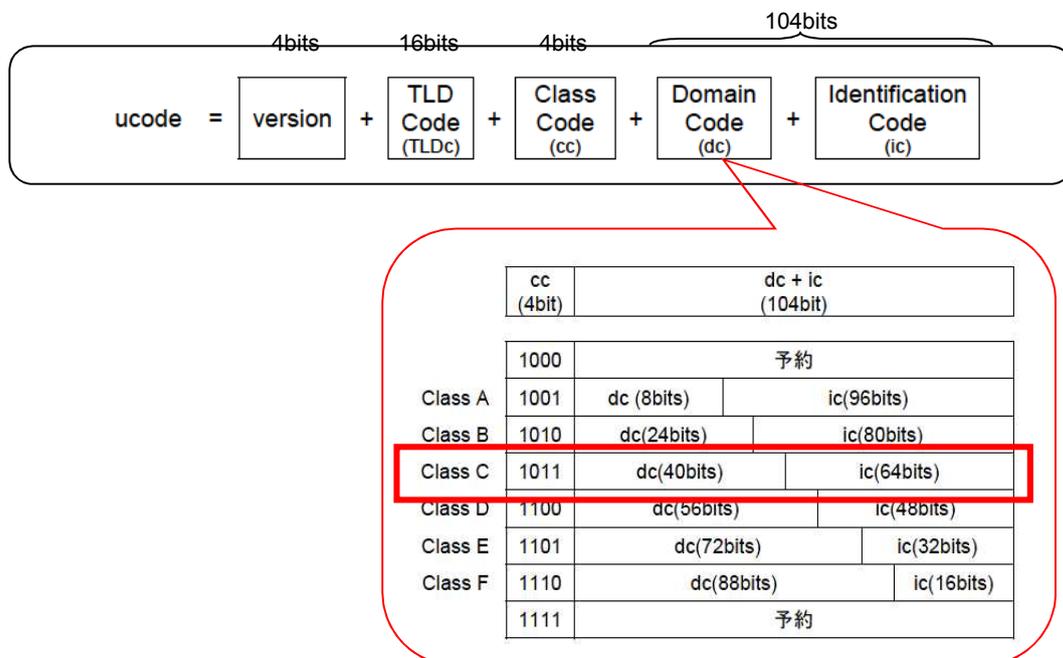
### 6-3. アクセス情報の取り扱い

API により、パブリックタグの情報を取得、利用した場合、そのアクセス情報（IP アドレス、アクセス時刻、アクセス端末の OS、ブラウザ等）がサーバ内に記録される。この情報は、国土地理院プライバシーポリシーに基づき取り扱う。

## 1. ucode の仕様

ucode は、識別したい物や場所、概念を唯一無二に特定するための 128bits を基本とする固定長コードであり、T-Engine フォーラムの会員で運営される「ユビキタス ID センター」が管理している。ucode の仕様は、下記のとおりである。国土地理院は、Class C のセカンドレベル・ドメインとして、ユビキタス ID センターから上位 64bits「0-0001-B-0000000003<sub>16</sub> (16 進数表記)」を割り当てられ、下位 64bits の場所情報コードのデータ形式部を管理する。

### ucode (128bits基本長) の構造



定義済CCの値とSLDCとICのビット境界

- Version : 現在のバージョンは、0000<sub>2</sub> (2 進数表記)。
- TLDc (トップレベルドメインコード) : ユビキタスIDセンターが認定した組織に割り当てるドメイン。
- cc (クラスコード) : dc (ドメインコード) 及び ic (識別コード) の境界を示すコード。
- dc : TLD管理組織が認定した組織に割り当てるドメイン (SLDC : Second Level Domain Code)。

※ 国土地理院がユビキタスIDセンターから割り当てられた ucode:

**0-0001-B-0000000003-\*\*\*\*\***

## 2. 場所情報コード(ucode)のデータ形式の詳細

場所情報コードは、計測した緯度・経度（0.1秒位以下の端数は切り捨て）、高さ方向（建物の階数を階層に変換したもの）で分類し、ucodeとして生成する。同一の緯度・経度・高さにある複数の点は、末尾に連番を付して識別する。

場所情報コードの水平位置は、緯度・経度を東経180度～西経180度、北緯90度～南緯90度の範囲で指定でき、地球の全域で表現することが可能である。高さ方向は、地下50階～地上200階（各階の間の階層も表現できる）で指定でき、屋外等特殊な階層をコードテーブルで別途定義して表現する。そのデータ形式は、次表のとおりである。

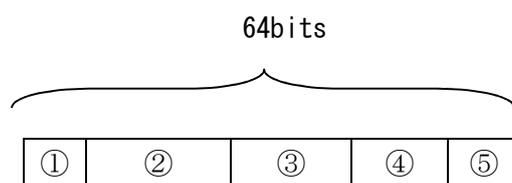


表 場所情報コードのデータ形式

		bit数	表記方法（ <sub>2</sub> は2進数表記を表す）
①	分類	2	当面「00 <sub>2</sub> 」のみを使用
②	北緯及び南緯	1	「0 <sub>2</sub> 」北緯、「1 <sub>2</sub> 」南緯
	緯度	22	緯度を秒単位で表し、0.1秒未満を切り捨て10を掛けて整数化し2進数で表現する。
③	東経及び西経	1	「0 <sub>2</sub> 」東経、「1 <sub>2</sub> 」西経
	経度	23	経度を秒単位で表し、0.1秒未満を切り捨て10を掛けて整数化し2進数で表現する。
④	高さ（階層）	8	建物の階数（地下は負の数）に50を加え階層に変換し、8bitsの2進数で表す。最後の1bitで中間階を表す。屋外等の特殊空間については、別途定義して使用する。
	中間階	1	
⑤	連番	6	②～④で指定された空間の中のモノを識別するID。「000001 <sub>2</sub> 」から「111111 <sub>2</sub> 」までの63個を指定できる。 なお、「000000 <sub>2</sub> 」は、空間そのものを表すコードと定義する。

### ①分類（2bits）

場所情報コードの将来的な仕様変更に対応できるよう、当面は「00<sub>2</sub>」で固定し、今後変更が行われた場合、旧仕様との区別等に利用する。

## ②緯度 (23bits) 及び ③経度 (24bits)

先頭の 1bit で北緯／南緯及び東経／西経を区別し、北緯・東経を「0<sub>2</sub>」、南緯・西経を「1<sub>2</sub>」で表記する。緯度・経度の数値は秒単位で表し、0.1 秒未満を切り捨て 10 を掛けて整数化し 2 進数で表現する。

## ④高さ (階層)

位置情報点の地点が屋内である場合、建物の階数（地下は負の数で表すものとする）を以下の変換式に従い階層として 8bits の 2 進数で表し、最後の 1bit は通常「0<sub>2</sub>」とし、これを「1<sub>2</sub>」とすることで中間階（一つ上の階との中間層）であることを表現する。

階数から階層への変換：「階層」＝「階数」＋50（階数は -50 から 200 まで）

なお、英国等で使われる「グランドフロア」は 0 階として扱うものとする。建物の階数が明確でない場合、原則として建物の管理者が定めた階数を用いるものとする。管理者が特に階数を定めていない場合は、該当する空間の最寄りの地表に最も近い平面を 1 階相当（51 階層）として、上下方向に利用可能な平面があるごとに階層を 1 ずつ増減させるものとする。

位置情報点の地点が屋外である場合は、特殊コードにより表現する。

- ・屋外（海上を含む）：「11111111<sub>2</sub>」
- ・屋上：「11111110<sub>2</sub>」
- ・海底、湖底、川底：「11111101<sub>2</sub>」

## ⑤連番

前述の②～④項で指定された空間の中で、64 個の識別ができるように 6bits の連番領域を設けている。ただし、このうちの「000000<sub>2</sub>」は、空間を識別するためのコード（論理場所情報コード、後述）として定義するため、同一空間域内の位置情報点に発行できる場所情報コードは最大で 63 個となる。

## 3. 論理場所情報コード

論理場所情報コードは、緯度・経度と高さ（階層）で区別された空間を表すコードで、連番を「000000<sub>2</sub>」としたものである。これは、空間に対してアプリアリに割り当てられたコードであり、場所情報コード発行機関に申請手続きをしなくても自由に利用できる。ただし、位置情報点を唯一無二に特定する ID としては利用できない。

#### 4. パブリックタグ登録申請情報の概要

場所指定情報	緯度、経度、階層を必須とする。緯度、経度によらない固有名詞的表現、図面上のローカルな（局所的）座標、画像等も登録可能とする。
タグ情報	場所情報コードや MAC アドレス等、タグを一意に特定するためのタグ固有 ID※。詳細は、別紙 3 を参照。
申請者情報	パブリックタグの管理者を明らかにするため。
属性情報	名称、検索用キーワード、詳細情報 URL、運用状態等

#### ※ タグ固有 ID について

パブリックタグには、ユビキタス ID センターがタグ別に定める関連仕様書に基づき、国土地理院が発行した場所情報コードを書き込むことを標準とするが、書き込むことができない場合や通常の方法では、読み出すことができない場合には、場所情報コードをプライマリーキーとした「場所情報コード閲覧システム」による登録情報の検索や利用ができない。この場合、場所情報コードの代わりに、パブリックタグから受け取ったり読み出したりでき、かつタグを一意に特定することができる情報を登録する必要がある。この情報として、別紙 3 の表に示すタグ固有 ID を登録申請情報に含める。なお、申請者は「6. パブリックタグの利用」に示す公開情報をもとに、登録を行おうとするタグ固有 ID が既に登録されていないか確認する。

#### 5. API により登録申請情報を取得する際の検索条件

「パブリックタグ情報共有プラットフォーム情報提供サイト」の説明ページの左側の項目「API の使用」を参照する。

[http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field\\_test/use.html](http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field_test/use.html)

#### 6. テキストファイルのダウンロード

[http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field\\_test/use.html](http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field_test/use.html)

#### 7. 国土地理院プライバシーポリシー

<http://www.gsi.go.jp/GSI/puraibasi-porisi.htm>

## 様式 A 申請者登録の申請情報

## (1) 書式

No.	項目	型	SIZE (桁, 文字 数)	申請時の 記入要件	記入内容の説明	例
1	申請者名称	全角 文字列	60	必須	企業名, 団体名, 個人名など	国土地理院
2	担当者氏名	全角 文字列	30	必須	担当者の氏名	国土 太郎
3	住所	全角 文字列	100	必須	申請者の住所	茨城県つくば市北郷 1 番
4	連絡先メールアドレス	半角英数 文字列	100	必須	確実に連絡の取れる問合せメールアドレス 個人情報保護のため、グループアドレスを推奨	<a href="mailto:geo-ref@gsi.go.jp">geo-ref@gsi.go.jp</a>
5	連絡先電話番号	半角英数 文字列	24	任意	問合せ用の電話番号	0298641111
6	申請者ホームページの URL	半角英数/ 全角文字列	300/100	任意	申請者が管理するホームページの URL	<a href="http://www.gsi.go.jp/">http://www.gsi.go.jp/</a>

## (2) 記入例

No.	1	2	3	4	5	6
項目	申請者名称	担当者氏名	住所	連絡先 E-mail	連絡先電話番号	申請者 HP の URL
例	国土地理院	国土 太郎	茨城県つくば市北郷 1 番	geo-ref@gsi.go.jp	0298641111	<a href="http://www.gsi.go.jp/">http://www.gsi.go.jp/</a>

任意の項目についてデータを記入しない場合は空白とする。

## 様式B パブリックタグの登録申請情報

## (1) 書式

No.	項目	型	最大桁文字数	申請時の記入要件	説明	例
1	場所情報コード	半角英数 16進数	32	空欄	申請をもとに発行する場所情報コード (128bit)	
2	タグの種類	半角英数	8	必須	以下のリストから「コード」欄を選択 <a href="http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode_app/pdf/media.pdf">http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode_app/pdf/media.pdf</a>	RFID06
3	タグ固有 ID	半角英数	40	該当する場合	mac アドレス、uid、UUID 等タグを一意に 特定するための ID。別紙 3 を参照。	fa_14mopqxyd123+dfh
4	緯度 (度)	整数	3	必須	DD (度)、南緯の場合は負記号 “-” をつ ける	35
	緯度 (分)	整数	2		MM (分)	39
	緯度 (秒)	浮動 小数点	7		SS.SSSS (秒)	29.1572
	経度 (度)	整数	4		DDD (度)、西経の場合は負記号 “-” を つける。	139
	経度 (分)	整数	2		MM (分)	44
	経度 (秒)	浮動 小数点	7		SS.SSSS (秒)	28.8869
	水平位置測定精度	整数	2		水平位置 (経緯度) の測定精度 10 : 高精度 (～30cm) , 20 : 中精度 (～	10

No.	項目	型	最大桁文字数	申請時の記入要件	説明	例
					3m), 30:低精度(～30m), 99:精度不明(不明もしくは低精度以下)	
5	場所情報の表現の種類	整数	2	該当する場合	1:固有名詞的表現 2:ローカル図面上の座標 (詳細は検討が必要)	1
6	緯度経度以外の場所指定情報	半角英数 /全角	600 /200	該当する場合	緯度・経度以外の固有名詞的表現やローカル図面座標等。 (詳細は検討が必要)	#ハチ公 #渋谷
7	階数	整数	3	必須	屋内の階数情報または屋外種別 屋内:-50～200(階), 屋外:999, 屋上:998, 海底/湖底/川底:997	5
	中間階(屋内の場合)	浮動 小数点	4		屋内の中間階情報 整数階:0, 中間階:-0.5 または 0.5	0.5
8	標高	浮動 小数点	10	標高がわかる 場合のみ	標高 (m)	26.68
	標高測定精度	整数	2		標高の測定精度 10:高精度(～0.5m), 30:低精度(～5m), 99:精度不明(不明もしくは低精度以下)	10
9	名称	半角英数 /全角	300 /100	任意	位置情報点所在地の地点を示す施設・設備等の名称	日本経緯度原点
10	属性・検索キーワード	半角英数 /全角	600 /200	任意	閲覧システムでの検索時のキーワード (キーワードの先頭に”#”をつけ半角スペースで区切る)	#基準点 #経緯度原点
11	詳細情報(URL)	半角英数 /全角	300 /100	任意	詳細情報を掲載するウェブサイトのURL	http://www.gsi.go.jp/
12	状態コード	整数	2	必須	運用状態を表すコード。通常は20(運用)。 (停止:30, 廃止:99)	20
13	申請者ID	整数	8	必須	申請者登録時に付与されるID	10038256

## (2) 記入例

No.	1		2		3		4		
項目	場所情報コード		タグの種類		タグ固有ID		緯度(度)	緯度(分)	緯度(秒)
例	(空欄)		BLE		f2f84497b3bf493abba97c68e6def80b		35	39	29.1572
				5		6		7	
経度(度)	経度(分)	経度(秒)	水平位置測定精度	場所情報の表現の種類		緯度経度以外の場所指定情報		階数	中間階
139	44	28.8869	10	1		#ハチ公 #渋谷		5	0.5
8		9		10		11		12	13
標高	標高精度	名称		属性・検索キーワード		詳細情報 URL	状態コード	申請者 ID	
26.68	10	日本経緯度原点		#基準点 #経緯度原点		<a href="http://www.gsi.go.jp/">http://www.gsi.go.jp/</a>	20	10038256	

記入要件が任意の項目について、登録しない場合は空欄とする。

**タグ固有 ID**

別紙 2 の No.3 に記載するタグ固有 ID は、タグの種類毎に以下を標準とする。ただし、タグに場所情報コードを書き込むことができ、発信または読み出しができる場合は、場所情報コードを利用する。

No.	タグの種類	タグ固有 ID	型	最大桁文字数	説明
1	NFC, RFID	UID	半角英数 16 進数	16	64bit
2	Wi-Fi	MAC アドレス	半角英数 16 進数	12	ハイフンやコロンは含めない(48bit)
3	BLE	MAC アドレス	半角英数 16 進数	12	ハイフンやコロンは含めない(48bit)
4	iBeacon	UUID メジャーマイナー	半角英数 16 進数	40	UUID(128bit)、major, minor(各 16bit)を連結
5	IMES	位置情報 1 または 2	半角英数 16 進数	30	IMES が発信する位置情報 1 (90bit) または 2 (120bit)。
6	その他のタグ	タグ毎の ID	半角英数	32	32 文字 (256bit) 以下の ID

## 場所情報コード閲覧システム API による公開情報

### (1) エンコード等

文字コード : UTF-8、 Content-Type : application/json; charset=utf-8

### (2) 検索結果 JSON 仕様

No.	項目	JSON キー名	書式	備考
1	検索結果コード	status	文字列	200 : 正常、400 : パラメータ異常、404 : 該当なし、406 : 検索結果最大数を超過、500 : サーバエラー
2	メッセージ	message	文字列	status が 200 以外のときにエラーメッセージを格納する。
3	検索結果件数	resultCount	整数	検索結果件数
4	検索結果情報	items	配列[場所情報コード情報]	検索結果の場所情報コード情報を配列で格納する。 II. 場所情報コード情報 JSON 仕様を参照

### (3) 情報 JSON 仕様

No.	項目	JSON キー名	型	最大桁文字数	説明	例
1	場所情報コード	ucode	半角英数 16 進数	32	申請を基に発行した場所情報コード(128bit)	00001B0000000000309EA8D2679C59982
2	タグの種類	media_code	半角英数 文字列	8	以下のリストで申請された「コード」を記載 <a href="http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode_app/pdf/media.pdf">http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode_app/pdf/media.pdf</a>	BLE01

No.	項目	JSON キー名	型	最大桁文字数	説明	例
3	タグ固有 ID	tag_id	半角英数 文字列	40	タグの種類毎に別紙 3 に示す ID を標準とする。	E008010C3862253F
4	緯度・経度	coordinate	半角英数 文字列	—	{longitude:経度(度),latitude:緯度(度)}	{"longitude":136.86060297222224,"latitude":34.394871305555554}
5	水平位置測定精度コード	horizontal_accuracy_code	整数	2	水平位置（経緯度）の測定精度 10：高精度（～30cm），20：中精度（～3m）， 30：低精度（～30m）， 99：精度不明（不明もしくは低精度以下）	20
6	場所情報の表現の種類	place_ex_code	整数	2	1:固有名詞的表現 2:ローカル図面上の座標（詳細は検討が必要）	1
7	緯度経度以外の場所指定情報	place_expression	文字列	600/200	緯度・経度以外の固有名詞的表現やローカル図面座標等。（詳細は検討が必要）	#ハチ公 #渋谷
8	階層コード	level_code	整数	3	屋内の階数情報または屋外種別 屋内：-50～200（階） 屋外：999，屋上：998， 海底/湖底/川底：997	14
9	中間層	intermediate_level_code	浮動 小数点	4	-0.5, 0, 0.5 のいずれか	0
10	標高	altitude	浮動 小数点	—	メートル単位	150.23
11	標高測定精度コード	altitude_accuracy_code	整数	2	標高の測定精度 10：高精度（～0.5m），30：低精度（～5m）， 99：精度不明（不明もしくは低精度以下）	10
12	名称	name	半角英数 ／全角	300 ／100	位置情報点所在地の地点を示す施設・設備等の名称	日本経緯度原点
13	属性・検索キーワード	feature	半角英数 ／全角	600 ／200	閲覧システムでの検索時のキーワード （キーワードの先頭に”#”をつけ半角スペースで区切る）。	#国土地理院 #地球広場 #くにかぜ

No.	項目	JSON キー名	型	最大桁文字数	説明	例
14	詳細情報 (URL)	ucode_url	半角英数 / 全角	300 / 100	詳細情報を掲載するウェブサイトの URL	http://sokuseikagisl.gsi.go.jp/
15	状態コード	status_code	整数	2	運用状態を表すコード。 “運用”を表す 20 となる。	20
16	データ作成日及び更新日	update_date	半角英数 文字列	10	コード発行日またはデータ更新日	2015/10/01
17	申請者名称	applicant_name	全角 文字列	60	申請者 ID に対応した申請者名称 (申請者登録の情報)	国土地理院

登録されていない項目は、キーそのものを出力しない。

#### (4) API 公開情報の出力例

例 1	送信 URL	<a href="http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/api/search.json?ucode=00001B000000000309EAB72679DB7FC1&amp;output_mode=pt_test">http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/api/search.json?ucode=00001B000000000309EAB72679DB7FC1&amp;output_mode=pt_test</a>
	回答文	<pre>{   "items": [     {       "status_code": "20",       "place_ex_code": "0",       "coordinate": {         "longitude": 140.08684169444444,         "latitude": 36.106169666666666       },       "altitude": 25.443,       "altitude_accuracy_code": "10",       "horizontal_accuracy_code": "20",       "intermediate_level_code": "0",       "applicant_name": "国土地理院",       "ucode_url": "http://www.gsi.go.jp",       "name": "タワー倉庫 SE",       "level_code": "999",       "update_date": "2015/11/02",       "feature": "#00001B000000000309EAB72679DB7FC1",     }   ] }</pre>

		<pre>"ucode":"00001B000000000309EAB72679DB7FC1", "media_code":"BLE01", "tag_id":"E008010C3862253D" }], "status":"200", "resultCount":1}</pre>
例 2	送信 URL	<a href="http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/api/search.json?tag_id=E008010C3862253D&amp;output_mode=pt_test">http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/api/search.json?tag_id=E008010C3862253D&amp;output_mode=pt_test</a>
	回答文	<pre>{"items":[{" "status_code":"20", "place_ex_code":"0", "coordinate":{"longitude":140.08684169444444, "latitude":36.10616966666666}, "altitude":25.443, "altitude_accuracy_code":"10", "horizontal_accuracy_code":"20", "intermediate_level_code":0, "applicant_name":"国土地理院", "ucode_url":"http://www.gsi.go.jp", "name":"タワー倉庫 SE", "level_code":999, "update_date":"2015/11/02", "feature":"#00001B000000000309EAB72679DB7FC1", "ucode":"00001B000000000309EAB72679DB7FC1", "media_code":"BLE01", "tag_id":"E008010C3862253D" }], "status":"200", "resultCount":1}</pre>

回答文は読みやすくするためキー毎に改行しているが、実際には改行されていない。

## テキストファイルによる公開情報

### (1) エンコード等

文字コード：Shift-JIS      改行コード：CR+LF      区切り文字：ダブルクォーテーション付カンマ区切り（CSV）

### (2) テキストファイル公開書式

No.	項目	型	最大桁 文字数	説明	例
1	場所情報コード	半角英数 16進数	32	申請をもとに発行する場所情報コード(128bit)	
2	タグの種類	半角英数	8	以下のリストから「コード」欄を選択 <a href="http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode_app/pdf/media.pdf">http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode_app/pdf/media.pdf</a>	RFID06
3	タグ固有 ID	半角英数	40	mac アドレス、uid、UUID 等タグを一意に特定するための ID。別紙 3 参照。	fa_14mopqxydl23+dfh
4	緯度（度）	浮動 小数点	半角英数 文字列	DD（度）、南緯の場合は負記号“-”をつける。小数点以下第 9 位。	36.106171305
	経度（度）	浮動 小数点	半角英数 文字列	DDD（度）、西経の場合は負記号“-”をつける。小数点以下第 9 位。	140.086490778
	水平位置測定精度	整数	2	水平位置（経緯度）の測定精度 10：高精度（～30cm），20：中精度（～3m），30：低精度（～30m），99：精度不明（不明もしくは低精度以下）	10
5	場所情報の表現の種類	整数	2	1:固有名詞的表現 2:ローカル図面上の座標	1
6	緯度経度以外の場所指定情報	半角英数 ／全角	600 ／200	緯度・経度以外の固有名詞的表現やローカル図面座標等。	#ハチ公 #渋谷 <P>

No.	項目	型	最大桁 文字数	説明	例
7	階数	整数	3	屋内の階数情報または屋外種別 屋内：-50～200（階），屋外：999，屋上：998，海底/ 湖底/川底：997	5
	中間階（屋内の場合）	浮動 小数点	4	屋内の中間階情報 整数階：0，中間階：-0.5 または 0.5	0.5
8	標高	浮動 小数点	10	標高 単位（m）	26.68
	標高測定精度	整数	2	標高の測定精度 10：高精度（～0.5m），30：低精度（～5m），99：精 度不明（不明もしくは低精度以下）	10
9	名称	半角英数 /全角	300 /100	位置情報点所在地の地点を示す施設・設備等の名称	日本経緯度原点
10	属性・検索キーワード	半角英数 /全角	600 /200	閲覧システムでの検索時のキーワード （キーワードの先頭に”#”をつけ半角スペースで区切 る）	#基準点 #経緯度原点
11	詳細情報（URL）	半角英数 /全角	300 /100	詳細情報を掲載するウェブサイトの URL	<a href="http://www.gsi.go.jp/">http://www.gsi.go.jp/</a>
12	状態	整数	2	運用状態を表すコード。通常は20（運用）。 （停止：30、廃止：99）	20
13	データ作成日及び更新日	半角英数 文字列	10	コード発行日またはデータ更新日	2015/10/01
14	申請者名称	半角英数 /全角	300 /100	申請者 ID に対応した申請者名称（申請者登録の情報）	国土地理院

登録されていない項目は空欄とする。

(3) テキストファイル公開情報のサンプル

行番号	内容
1	""00001B000000000309CC442662B99881","BLE01","","35.673121944","139.757881944","20","","","-1","0","","",""□口線××駅","#3番出口","","20","2015/12/14","株式会社〇〇〇〇"
2	"00001B000000000309EAB72679D49A41","NFC01","E008010C3862253F","36.106171306","140.086490778","20","","","2","0.5","25","10","タワー倉庫SW","#E008010C3862253F","http://www.gsi.go.jp","20","2015/09/08","国土地理院"
3	"00001B000000000309EA962679C51A01","NFC01","","36.104333333","140.085611111","20","","","2","0","","","展示物21","#国土地理院 #地図と測量の科学館の展示案内 #伊能忠敬 #00001B000000000309EA962679C51A01","http://gsi-museum.kokosil.net/00001b000000000309ea962679c51a01","20","2015/07/13","国土地理院"
4	"00001B000000000309EA98A679CCFFC1","NONE","","36.104472222","140.086027778","20","","","999","","","展示物37","#国土地理院 #地図と測量の科学館の展示案内 #月球儀 #00001B000000000309EA98A679CCFFC1","http://gsi-museum.kokosil.net/00001b000000000309ea98a679ccffc1","20","2015/07/13","国土地理院"